

コロナ 高齢者施設第8波クラスター 感染者87%入院でさす

昨年12月から今年2月上旬の新規コロナウイルス感染症の波でクラスターが発生した高齢者施設で、感染者の87%が療養期間中（原則14日間）に入院ですか、施設に留め置かれていたことが分かりました。一人も入院

21・老福連 調査

だれかがた施設は33件以上ありました。高齢者施設でいる「21世紀・老人福祉向上委員会・施設連絡会」の調査によるもの。

↓21・老福連調査結果の話3回

全員留め置き施設31%

調査は同種感染が多波状況を含めた全国5000施設を対象とした。一方「療養期間満了後」で感染の影響で止まらない人が回復しました。療養期間中に入院先で「考えられる」人が86施設（56件）で確認されました。クラスターは53件のうちになった人も38施設で54人（11人）いました。療養期間中に施設で亡くなった人が40施設で7人以上ています。

ハーベスター発生施設に入院できなかった理由をたずねると「病床がひつ迫して」いたから「90%、看護の品質が悪化した」が42%、「自治体や病院これまでの「2類相談」がは個人の判断で断られました」とあります。

国内初確認から3年 インフルと同等扱い

新型コロナウイルス感染症は「2類相談」から「1類相談」へ移行しました。行動規制に関する法的根柢たるウイルス検査や外来診療の実績を踏まえ、マスクは1月13日から着用ルールが緩和され、屋内外出を問わず個人の判断が基づく推進。5月5日も症状がある場合は、回復してから施設を出で、入院患者は約20000ヶ所で最大約5万8000人を受け入れられるようになります。

場合には、軽減措置についてかるい口頭は外出を控え、10日間はマスクを着用するよう推進。5月5日も症状がある場合は、回復してから24時間が経過するまで外出自粛を求めています。

感染者や濃厚接触者の行動範囲は感染者の発達期間の延長によって、発症翌日0時となる見通し。入院する感染者は感染者の発達期間の延長によって、発症翌日0時となる見通し。

感染者や濃厚接触者の行動範囲は感染者の発達期間の延長によって、発症翌日0時となる見通し。

感染者や濃厚接触者の行動範囲は感染者の発達期間の延長によって、発症翌日0時となる見通し。

など 初診料は最大4~7円となる見通し。入院する

感染者は感染者の発達期間の延長によって、発症翌日0時となる見通し。

感染者は感染者の発達期間の延長によって、発症翌日0時となる見通し。

感染者は感染者の発達期間の延長によって、発症翌日0時となる見通し。

5/8 木

コロナ入院 医療機関で調整

5類移行伴い

新型コロナウイルスが8日に感染症法上の「5類」になるのに伴い、入院の調整について、他の疾病のように医療機関が広く担い、調整する姿に切り替えられます。

北海道は行政と医療機関で話し合う場を設け、スマートな移行を目指します。道医師会の三日和昭常任理事は「過去の流行では場所によって急激な増加が見られた。地域で面倒を見切れなくなつたときの応援態勢が気になる」とし、広域サポートを道に求めます。

入院体制を巡り都道府県は9月末までの「移行計画」を策定。主に確保病床のある病院などが担う体制から、約8300の医療機関が対応する形となりま

す。入院調整は原則医療機関同士が行いますが、重症者や調整困難な場合は自治体が支援するとしています。

通常の医療体制への移行に伴い、自治体の確保病床は、重症者や配慮の必要な患者に重点化していくま

す。福岡県では医療機関から「軽症者の受け入れは可能だが、容体が急変したときの転院先が必要だ」との声が出たといい、病床を確保するとともに、国や県のシステムを活用した空き病床の見える化を進めるとしています。

外来対応の医療機関は現在の約4万2000カ所から約20000増えますが、政府目標の約6万4000には遠い状況です。

自治体は重症者に重点